

## 経営体の概要

- ・所在地:青森県おいらせ町
- ・経営体名:A 経営体 (家族経営)
- ・栽培作物・作付面積:キャベツ・9 ha、だいこん・30a
- ・従業員数:4名 (令和6年3月現在)

## 導入技術

## KSAS (クボタスマートアグリシステム)

## ○ほ場管理システム

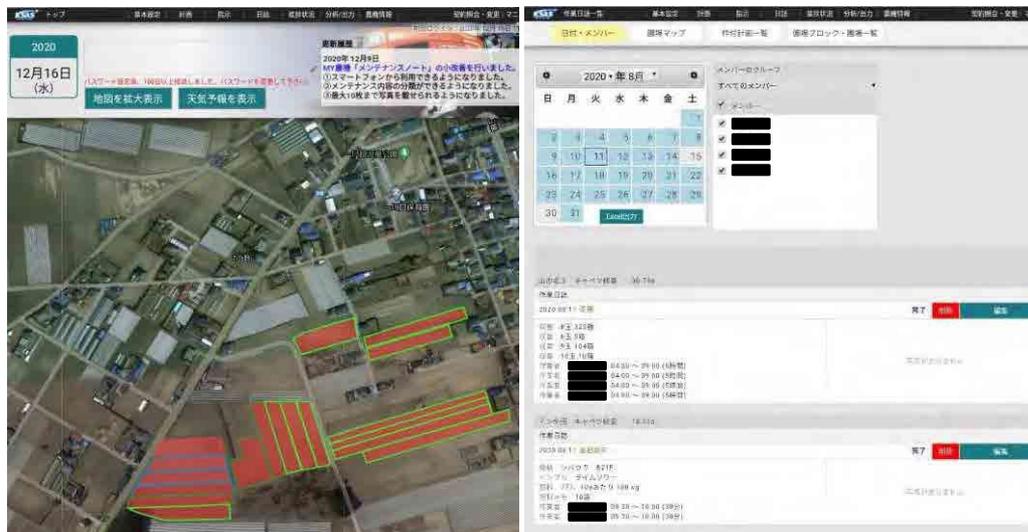
インターネット上の地図情報と、ほ場情報や作業履歴等を統合して管理することができ、作業進捗の確認や作業履歴の蓄積など、農業の見える化を実現できる。

## 導入経緯

- A 経営体では、農作物の高品質安定生産のために、正確なほ場面積の把握や作業履歴の管理等、「農業経営の見える化」の必要性を感じていた。
- このため、令和元年にKSASを導入し、システムを活用したほ場管理を行うこととした。

## 取組の特徴・効果

- 導入効果
  - ・ほ場を品目や品種、栽培様式別に色分けして、マップ上で作付状況の確認ができるようになり、作付計画の作成や作業履歴の振り返りが容易になった。
  - ・正確なほ場面積の把握によって、糖度の高い施肥管理、ほ場・品目ごとの収量データ・生産コストの正確な把握が可能となり、効率的に経営改善を図ることができるようになった。
- 今後の方針
  - ・データの蓄積と分析を進めることによって、収量・品質等の年次変動を抑え、農作物の高位安定生産につなげる。
  - ・システムを活用して作業内容・作業進捗の共有等により、作業の効率化に努める。



ほ場管理システム画面

作業履歴の振り返り